

事業報告書

コース	<input type="checkbox"/> 自主事業コース <input type="checkbox"/> 協働市民提案コース <input checked="" type="checkbox"/> 協働行政提案コース
事業名	玉島陶・服部地区に住みたくなる定住・移住環境の整備、移住希望者と地区住民との交流促進。
団体名	玉島陶・服部地域まちづくり協議会
担当課	渉外部

1 事業の概要

事業計画書（様式第2号）の「4 計画の概要と対象者」を転記してください。

- ・29年度の事業で、移住希望者に対しての情報発信のパンフレット、ホームページ、ブログを制作。これらを積極的に利用して情報発信をする。
- ・田舎暮らしを希望している移住希望者に農業体験をしてもらい、その後の交流会でこの地区の魅力を発表し、参加者のライフスタイル合った地域なのか、また移住希望者がどんなライフスタイルを望んでいるのか、移住最適地になるには何が必要か等の、今後の活動に必要な情報を得る。
- ・玉島陶・服部地域まちづくり協議会の各部会の構成委員を増やし、将来的に出来る事業の可能性を拓げる。
- ・これからの地区の将来を考えると、玉島陶・服部地域まちづくり協議会の部会に、農業部会を設けなければならない。
- ・元々住んでいる人々を対象に移住促進の必要性、成功事例などを踏まえての研修会を開催。

2 アウトカム（成果）の達成状況

事業計画書（様式第2号）の「6 アウトカム（成果）」に対して、事業を実施する中で見えてきた成果があれば具体的に記入してください。

協議会の会員も30名をうわまわり、講演会の参加人数も予定以上の参加者で開催できました。玉島陶・服部地区に移住者を受け入れるためには、移住者のための宅地を用意していくことが必須で、中塚周一県議会議員、難波朋裕市議会議員の先生方の力をお借りして、市街化調整区域内でも移住者が家を建てられるよう、行政に働き掛けていただいている。

36名の会員が中心となり、地区住民にこの事業を理解していただくための手段を考えていく段階になり、31年度に「玉島陶・服部地域を持続可能な地域にするために移住者を積極的に受け入れ、この事業を成功させるための人材発掘と育成の研修会」の事業計画をまとめた。

3 アウトプット（直接の結果）の達成状況

事業計画書（様式第2号）の「5 アウトプット（直接の結果）」の「指標」及び「事業実施後の数値目標」を転記し、事業実施後の達成状況を数値で記入してください。

（1）事業実施後の達成状況

指標（転記）	事業実施後の数値目標（転記）	事業実施後の達成状況
新規部会	8名	8名
各部会の構成委員	3部会28名	36名
農業体験参加者数	12名（6名×2回）	61名（内会員16名）
研修会	60名（30名×2回）	79名
大阪での移住説明会	30名	0名

（2）事業全体の達成度（自己評価）とその達成度にした理由

《達成度》

達成度については、1から5の5段階で自己評価してください。

評価の目安は、計画通り達成できた場合を100とし、100以上が「5」、80～99が「4」、60～79が「3」、40～59が「2」、0～39が「1」としてください。

達成度	その達成度にした理由
5	大阪への移住説明会は移住定住室からの依頼がなかったため参加しなかった。構成員、農業体験、研修会と予定した人数よりも多かった。研修会の内容もわかりやすく、これから何をしていくか明確になった。何をしていくかとは、地区住民に理解をしてもらい、自分たちで出来ることで、この事業に参加してもらうための施策が必要。

4 事業の課題と改善策

様式第7号

事業を実施する中で見えてきた課題と、今後の改善策を記入してください。

協議会の会員も30名をうわまわり、講演会の参加人数も予定以上の参加者で開催できています。講演会での研修で玉島陶・服部地区の良いところ、問題点も共有出来てきています。

36名の会員が中心となり、地区住民にこの事業を理解していただくための手段を考えていく段階になりました。また、玉島陶・服部地区に移住者を受け入れるためには、移住者のための宅地を用意していくことが必須で全会一致しています。宅地を用意していくために、何をどのようにしていったいいか模索をしています。

5 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の人数
第21回研修会定例会	4月26日(木)19時 ～	穂井田憩いの家	26名	
第22回研修会定例会	5月23日(木)19時 ～	穂井田憩いの家	23名	
第23回定例研修例会	6月27日(木)20時 30分～	穂井田憩いの家	33名	
①第1回まちづくり講演会	6月27日(木)19時 ～20時30分	穂井田憩いの家		40名
第24回研修会定例会	8月28日(火)19時 ～	穂井田憩いの家	18名	
第25回研修会定例会	9月26日(木)19時 ～	穂井田憩いの家	14名	
①第2回まちづくり講演会	10月14日(日)9時 ～11時	穂井田憩いの家		38名
第26回定例研修例会	10月25日(木)19時 ～	穂井田憩いの家	13名 16名	
①第2回農業体験交流会	11月11日(日)14時 ～16時	陶地内、穂井田憩いの家	21名	40名(無料)
第27回研修会定例会	11月28日(木)19時 ～	穂井田憩いの家	10名	
第28回研修会定例会	1月31日(木)19時 ～	穂井田憩いの家	18名	
第29回研修会定例会	2月27日(木)19時 ～	穂井田憩いの家	24名	
①移住ツアー	3月23日(土)17時 15分～19時	穂井田憩いの家	20名	28名(無料) *計画外収入 54名計.
第30回研修会定例会	3月28日(木)19時 ～	穂井田憩いの家	18名	

かわら版発行 6月・10月・3月

パンフレット発行 3月

収支精算書

1 収入の部

科目	予算額 (円) ※1	収入額(円)	主な収入の内訳
受益者負担	18,000	23,400	講演会参加費 (2回分)
会費からの繰入	20,000	14,865	
その他		0	
市補助金	500,000	394,000	
収入合計	538,000	432,265	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	予算額 (円) ※1	支出額(円)	主な支出の内訳
人件費 (会員) ※2	50,000	39,200	農地耕作, 苗植え, 収穫, 他
交通費 (会員) ※2	0	0	
人件費 (アルバイト等)	15,000	0	
謝金 (講師等)	72,000	60,000	講師 講演会謝礼 (2回分)
旅費交通費 (講師等)	0	6,000	講師 交通費 (2回分)
消耗品費	76,000	87,022	マルチ, ネット, 肥料, 苗用土, 苗, ポット, 他
印刷製本費	0	0	
通信運搬費	4,000	2,195	切手, 送金手数料
保険料	0	1,680	障害保険 (2回分)
使用料・賃借料	60,000	42,000	農地借地料
外注費・委託費	223,000	155,914	パンフレット, 印刷代
対象経費計	500,000	394,011	
食糧費	20,000	22,210	飲物, 茶菓子
人件費	0	14,600	
その他	18,000	1,444	紙コップ
対象外経費計	38,000	38,254	
支出合計	538,000	432,265	(収入合計と一致)

※1：予算額は申し込み時に提出した様式第3号の内容を転記してください。

※2：会員に支払う人件費と交通費の合算額は、対象経費計の1割を上限とします。